

庭みみずつうしん通信

（株）庭園設計事務所
〒193-0823 東京都
八王子市横川町 1096-3
Tel.042-622-8840

VOL.12

鳥は知っている？

（庭の良し悪しは図面に有り）

かつては、庭を作るのに、設計図があるのですかの声を良く耳にした。さすがにこの頃は、その声も少なくともなくなったが、作庭家でもある弊社の社長がいつも言う言葉に、「鳥が一番庭の美しさを知っている。」即ち、鳥瞰図いわゆる平面図の美しい庭こそ良い庭になるが、口癖である。

お客様には、イメージが良く伝わる様、パース図という、出来上がりを想定した、スケッチにも似た図面を提示させて頂く。作り手である職人とデザイナーは、どこに、常緑樹や、落葉樹を配置するか、また構造物には、無理、無駄はないか？人の動線は自然かを考える、これらがうまくいった平面図こそ、出来上がりの庭の良さに繋がる。



今回は、写真ではなく、手描きの平面図を紙面に載せる事にしました。

我々と一緒に庭作りに参加したつもりで、楽しんで頂ければ幸いです。

では、鳥の気分になって、上空散歩をどうぞ！

花暦

早春の野原に咲く青い花、オオイヌノフグリ、路傍の可憐な花に、犬の陰囊すなわち股間などという、不名誉な名が付いてしまったのは何故だろうか？

皆様は花は見るのだからその果実を見たことがお有りだろうか？

見れば、成程と頷けるはずです。「犬ふぐり星のまたく如くなり」高浜虚子に、こんな句が有る。

私事になるが、暫く千葉県の我孫子市に住んで居たことがあり、その隣町の柏あたりでは、この草をホシノヒトミ（星の瞳と呼ぶ方言が使われていた。



これなど、虚子先生の感性とびつたりで、文学的である。本人（草？）に替れば、こんな雅な和名でありたかったであろうと察するしだいであります。

天声樹語

コスモス
秋桜の名を頂きな

がら、初夏にはその黄色の花を、誇らしげに咲く、キイロコスモスを、花壇とはいわず、河川敷にもよく目にする様に成ってきたこの頃である。

この花は、現在問題になっている。ブラックバスと同じ、指定外来種で、その繁殖力ゆえに、在来の固有種の野の花達が失われつつ有るのが現実です。（もっとも、普通のコスモスも外来種では有りますが？）であるからこそ自己主張は少ないが、ものの哀れを感じさせる、花にこそ目を向けるときでは！

美し郷は諸事情により、しばらく休業させて頂いております。お庭はご覧いただけますのでお散歩がてらお立ち寄りください。